

平成26年度 第2回健康づくり支援部会 議事録

日 時：平成26年11月28日（金）

審議会終了後 20時～20時40分

場 所：帯広市役所 10階 第4会議室

●会議次第

1. 開会

2. 会議

- (1) 前回会議の議事録（案）の確認
- (2) 平成25年度 健康推進課決算について
- (3) 平成25年度 保健事業について
- (4) 第二期けんこう帯広21の進捗について
- (5) その他

3. 閉会

- 出席委員：井出渉委員、吉村典子委員、金須俊雄委員、高橋きみ子専門委員、有岡秀専門委員、高橋セツ子専門委員、
(欠席：山本勝弘委員、角谷巍啓専門委員)

● 議事録

○ 事務局

これより第2回健康づくり支援部会を、はじめさせていただきます。

本日は、大変お忙しいところ、また、お疲れのところご出席いただき、誠にありがとうございます。

ただいまから、平成26年度第1回健康づくり支援部会を開催させていただきます。本日の委員の出席は、健康づくり支援部会、委員8名中6名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

2. 会議

○ 部会長

それでは会議に入らせていただきます。まず、前回会議の議事録の確認について、議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

特にないようですので、会議録は了承されたものといたします。

次に、平成 25 年度決算について、議題といたします。

事務局、説明願います。

○事務局

お手元に配布させていただいております資料 1、資料 2 についてご説明させていただきます。

まず、資料 1 であります。平成 25 年度 健康推進課決算に関わる資料でございます。総事業費は 11 億 1 千 8 百 9 万 2 千 3 百 6 千 7 円でした。その内訳としまして資料左側の 保健衛生総務費の総額 1 億 2 千 2 百 5 万 8 千 3 百 8 6 円です。中身につきましては、健康まつり負担金、重度心身障害者歯科治療事業補助金、難病連十勝支部事業費補助金等となっております。

食・運動改善推進費は、食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成・育成事業費となっております。

公衆浴場対策費は、市内の公衆浴場活性化のための事業費でございます。

訪問看護促進費は、こちらは北海道在宅医療ケア事業団の会費となっております。

大正と川西にゲートボールができる施設がございます。健康増進センターとなっております。その 2 箇所の運営費でございます。

また、高等看護学院につきましては十勝の 19 市町村で運営しておりますが、1 年間の分担金となっております。医師会看護師等養成機関に対します補助金についても計上させていただいております。

帯広厚生病院救命救急センターの運営費であります。これも管内 19 市町村での運営を行っているところでございます。

保健福祉センター費であります。これは保健福祉センターの管理費であります。

次に、資料右側予防費ですが、総額で 4 億 2 千 8 百 8 万 2 千 9 百 1 円であります。内訳といたしまして、がん検診、健康診査など各種がん検診ですとか、国の事業であります無料クーポン券事業、市民健康審査、肝炎ウイルス検診などの費用でございます。

また、予防接種費につきましては、現在行われております定期接種の費用でございます。

感染症予防費につきましては、65 歳以上の高齢者及び中学 3 年生、高校 3 年生に対する季節性インフルエンザ予防接種などが含まれています。

結核予防については、BCG 予防接種費、結核検診などの内容でございます。

健康相談費、これには精神科医師と心理相談員への報酬、報償費などが含まれます。

健康教育費につきましては、私どもが実施しております各種講座の費用となります。他、訪問保健指導費につきましても含まれております。また、自殺対策費としてこころの体温計などの事業を行っております。

最後に、夜間急病診療費であります。夜間急病センターの管理運営費のほか、救急医療対策費としまして二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営費が

含まれております。

26年4月に、柏林台西町の方に夜間急病センターが移転いたしました。25年度につきましては改築にかかる経費が含まれております。

これが25年度の決算の概要でございます。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

【質疑・応答】

別に（他に）なければ、質疑を終了いたします。

次に、平成25年度保健事業について、議題といたします。

事務局、説明願います。

○事務局説明

平成25年度保健事業についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。

まず、「1. 保健福祉センターの利用状況」をご覧ください。

- (1) 事業等の利用状況であります。表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移をご覧ください。3ヵ年の推移を見ますと、利用者は5万人代で推移しています。
- (2) 各種相談の利用状況では、平成24年度に比べ、子育て支援センターの利用件数が、少なくなっています。これは、24年度まで集計の中に関係機関との連携や、関係機関からの相談の件数をカウントしているためであります。本来市民からの相談のみをカウントするよう見直したことが要因でございます。また、平成24年度より障害者生活支援センター、地域包括支援総合センターの相談機能が市役所本庁での実施となり、相談件数が減少しています。

次に、「2. 感染症などの予防」をご覧ください。

- (1) 予防接種の実施状況では、平成23年度から平成24年度にかけて予防接種種法が変わり接種方法が大幅に変更されておりますため、生ポリオから不活化ポリオ、4種混合へと変更されております。また、平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化となっております。他は、例年通りの推移となっております。
- (2) 結核検診の実施状況につきましては表のとおりとなっております。次に、2ページ目をご覧ください。

(3) インフルエンザ予防接種の状況ですが、中3、高3と、65歳以上の高齢者に対し、通常の季節性ワクチンの接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。

次に、

(4) エキノコックス症検診の実施状況については、表をご覧ください。

2ページ目中段、「3. 生活習慣病の予防」をご覧ください。

(1) 健康教育の実施状況では 老人会、婦人会からの依頼が増えておりますが、大きくは変化ありません。

(2) 健康づくり講座では、25年度より、第二期けんこう帯広21の推進のため、新たな事業を追加してございます。

重点である糖尿病対策としまして、平成23年度から行っている糖尿病予防講座に加え、糖尿病重症化予防のための結果説明と訪問を開始しました。

からだスッキリ講座は、保健師によるミニ講話と運動を組み合わせたものですが、一度参加されるとリピート率が高く、1回あたり40名前後の申込みがございました。併せて、個人の生活習慣を変えることを目的として、3ヶ月間通じて支援する健康づくり教室の運動支援はニーズが高く、人数も伸びています。

また、がん対策も重点としておりますが、女性のがん予防のため地域に出向く「乳がん・子宮がんキャラバン」を学生対象に行うなど、早期からの普及啓発をすすめています。

3ページをご覧ください。

健康相談、訪問指導、トレーニング事業につきましては、表のとおりとなっておりますのでご覧ください。

次に、

(6) 検診の実施状況であります。23年度より開始した無料クーポン事業の影響により受診者数が増加し、更に、平成25年度からは、健康教育などでのがん検診受診の啓発により、胃がん、肺がん、大腸がんにつきましては、受診数が伸びています。子宮がんについては、施設、乳がんにつきましては集団で伸びている状況です。

4ページをご覧ください。「4. 自殺対策」では、

平成21年度、国において平成10年以降年間自殺者が3万人を超えていることから、地域自殺対策緊急強化基金を造成し、帯広市においても、この基金を活用し、平成21年度から自殺対策に取り組んでおります。

平成23年度からは自殺対策にかかる関係職種や関係機関において相談者を適切な相談窓口につなげられる地域の社会資源を知り、情報を共有するための「多分野合同研修会」を開始しています。実績は表のとおりです。平成25年度からは、身近な人が声をかけ、悩んでいる人を見守る「ゲートキーパー研修会」を地域で実施しております。

最後に、「5. 救急医療体制に関する実施状況」であります、
帯広市では、夜間・休日等における医療不安の解消と急病患者の発生に対処するため、夜間急病センター運営事業や医療機関の協力を得て、在宅当番医運営事業や二次救急医療体制の確立をしております。平成26年4月より、休日・夜間急病センターとして、現在地におきまして業務を開始しているところでございます。

説明は、以上でございます。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

○高橋セツ子専門委員

1ページの地域包括支援総合センターの利用状況が1件とあるのですが、これはどういうことでしょうか。地域包括支援センターの相談が減っているのですか？

○事務局

ここに記載しています「地域包括支援総合センター」は、地域にあります「地域包括支援センター」のことではなく、保健福祉センター1階にある相談窓口のことでございます。現在は市役所本庁舎の2階の高齢者福祉課に職員がまとまって相談を受けています。そのため、保健福祉センターでの相談件数は少なくなっている状況です。

○高橋セツ子専門委員

地域包括総合支援センターの相談が1件あったということですね。1件はどのような内容でしょうか。

○事務局

内容は把握しておりません。

○高橋きみ子専門委員

同じく利用状況ですが、全体的に平成25年度減っているようです。母性相談は増えていますが、栄養相談がぐぐっと減っていますね。私たちも健康まつり等で栄養相談コーナーを設けると、相談は増えていきます。一般の方々の栄養への関心は高まっていると思っていますので残念な気がします。

○事務局

栄養相談は、お一人おひとりの相談内容が濃くなっていることがあります。また、平成25年

度、健康づくり講座、糖尿病予防講座に加え、新しく糖尿病重症化予防に関する事業も行っておりますので、その中で相談を受けているものもあります。

○部会長

他になれば、質疑を終了いたします。

次に、第二期けんこう帯広21について、議題といたします。

事務局、説明願います。

○事務局

それでは、資料3をご覧ください。こちらは、平成25年度からスタートしておりますけんこう帯広21の点検評価表ですが、第二期けんこう帯広21では、10年後に目指す目標を定めておりました、糖尿病から歯科まで、目標に対して、平成25年度はどのような結果だったのかということをもとめたものでございます。

参考資料として、第二期けんこう帯広21の概要版をつけております。2ページ目から4ページ目、1番から35番まで、現状値と目標を記載しており、これに基づいた表となっております。

上から説明しますと、糖尿病につきましては、1番目に、合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少という目標をおいてございます。平成25年の実績値は15人となっておりますが、予防により10年後には限りなく0に近づきたいという目標です。そのための取り組みといたしまして、合併症を予防するための知識の普及ですとか、特定健診の結果の説明や訪問をして、なんとか治療を中断しないで、新たに合併症にならないようにするということです。

このような形で目標を設定しており、2番目は、糖尿病有病者の増加の抑制です。平成25年度の実績値は表のとおりです。こちらは健診結果を分析して帯広市は40代50代男女とも全道に比べ、血糖の状態を示すヘモグロビンA1cが高いということがわかりましたので、市民の方々にも周知をし、該当者には個別通知、保健師や栄養士が直接面接する方法で増加を抑制していきます。

また、3番目に、血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少ですが、これは適切な治療をしないと合併症が心配な状態であるにもかかわらず、（健診受診者の）3割が未治療という現状でありました。適切な治療につながるよう引き続き取り組みを継続します。

次にがんについてです。次のページをご覧ください。

がん対策につきましては、重点となってございまして、新たな取り組みを開始しております。例えば、がん検診の受診率向上のため、託児付検診や、企業向け検診、保護課と連携しがん検診の受診勧奨を行っています。

ランチ＆運動つき健診教室は、特に栄養士が推奨しており、また、帯広市は大腸がんが多いとい

う実態があることから、健康まつりでは、医師会の協力をいただいて大腸がん予防講演会を行いました。また、出前健康講座では、実際の大腸がんキットを、市民の方々にお見せしながら、申込みを受付するといった活動を実施しました。その結果、少しではありますが、がん検診の受診率が伸びています。

次に、こころの健康についてです。

こころの健康の目標項目として、8、自殺者の減少とありますが、すぐに結果が出るものではないです。これまで実施してまいりました普及啓発、こころの健康に関する講座、多分野合同研修会を継続し、ゲートキーパー研修会は地域に出向いて行っています。

平成25年度は自殺の地域分析を実施し、40～50歳代の男性の自殺数が多いこと、20代女性の自殺率が高いという結果がわかりましたので、平成26年度からは、そこにターゲットを絞って取り組みをすすめている状況です。その中で、企業への周知により、メンタルヘルスに関する措置を受けられる企業が増えるよう取り組みをすすめていきます。

ただ今説明いたしました重点の他、妊娠中やこどもに関しては、子育て支援課、循環器疾患では国保課など、すべての目標に対して関係課や団体とすすめており、その他の進捗につきましては資料のとおりでございます。

説明は以上です。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

○事務局

追加でございますが、参考資料として、各課の健康関連の取り組みの資料をつけてありますので、ご覧ください。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

委員の皆さまから何かありますか。

その他、事務局から何かありますか。

なければ、質疑を終了します。

○事務局

次回の健康づくり支援部会の日程であります、来年2月を予定しております。

委員、専門委員の皆様には改めてご案内をさせていただきます。

なお、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に係る第5回合同部会は、12月26日

開催予定としております。年末の大変お忙しい時期に恐縮でございますが、どうぞよろしくお願いたします。

以上で予定されている議事は終了いたしました。

本日はこれで閉会といたします。

お疲れのところありがとうございました。